

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日
上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社
 コード番号 6463 URL <https://www.tpr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 矢野 和美
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 猪崎 欣也 TEL 03-5293-2811
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	94,938	3.1	4,817	12.9	6,972	24.3	3,347	△0.9
2024年3月期中間期	92,089	11.4	4,266	89.7	5,607	31.7	3,377	149.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 12,920百万円(△5.2%) 2024年3月期中間期 13,634百万円(△6.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	99.19	—
2024年3月期中間期	100.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	299,723	200,814	55.2	4,887.17
2024年3月期	290,109	189,640	54.2	4,667.03

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 165,347百万円 2024年3月期 157,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,200	△0.8	12,600	0.6	16,300	1.5	8,400	2.5	248.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) ケーテー自動車工業株式会社、安慶帝伯功能塑料有限公司、除外 1社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	34,300,099株	2024年3月期	34,300,099株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	467,183株	2024年3月期	579,444株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	33,747,576株	2024年3月期中間期	33,708,947株

(注) 期末自己株式数については、株式給付信託(BBT)及び譲渡制限付株式給付信託(BBT-RS)が保有する当社株式(2025年3月期中間期 111,219株、2024年3月期 223,600株)を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託(BBT)及び譲渡制限付株式給付信託(BBT-RS)が保有する当社株式(2025年3月期中間期 195,533株、2024年3月期中間期 235,593株)を含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	12

※参考資料 T P R 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算発表参考資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国では労働需要を背景に良好な雇用所得環境が消費を下支えし、中国では内需低迷を輸出で補う一方、日本では賃金上昇が個人消費を後押ししているものの、依然として物価上昇の影響が続いており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主として関連する自動車業界においては、国内では認証不正問題の影響で減産となったものの、海外では、米国や中国などでハイブリッド車の需要増や販売促進の政策により販売台数が増加しました。

このような経営環境のもと、当社グループの当中間連結会計期間において、売上高は日本の自動車生産台数が減少した影響を受けた一方、海外では自動車販売台数の増加に加え為替影響が追い風となり、前年同期比で増収となりました。利益は、アジアの業績好調により、営業利益、経常利益ともに前年同期比で増益となったものの、親会社株主に帰属する中間純利益では、日本の減少分をカバーしきれず前年同期比で減益となりました。

当中間連結会計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	949億38百万円	(前年同期比	3.1%増)
営業利益	48億17百万円	(前年同期比	12.9%増)
経常利益	69億72百万円	(前年同期比	24.3%増)
親会社株主に帰属する中間純利益	33億47百万円	(前年同期比	0.9%減)

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P Rグループ(除くファルテックグループ) >

①日本

日本は、売上高は239億74百万円で、前年同期に比べて22億7百万円の減収となりました。セグメント利益は3億7百万円で、前年同期に比べて9億70百万円の減益となりました。

②アジア

アジア地域は、売上高は223億72百万円で、前年同期に比べて39億90百万円の増収となりました。セグメント利益は38億64百万円で、前年同期に比べて9億22百万円の増益となりました。

③北米

北米地域は、売上高は83億98百万円で、前年同期に比べて7億71百万円の増収となりました。セグメント利益は3百万円で、前年同期に比べて2億72百万円の増益となりました。

④その他地域

その他地域は、売上高は14億7百万円で、前年同期に比べて1億51百万円の減収となりました。セグメント利益は1億62百万円で、前年同期に比べて38百万円の減益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は387億85百万円で、前年同期に比べて4億46百万円の増収となりました。セグメント利益は4億31百万円で、前年同期に比べて3億33百万円の増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して96億14百万円増加し、2,997億23百万円となりました。これは主に現金及び預金が53億50百万円、商品及び製品が17億83百万円、有形固定資産が8億75百万円、仕掛品が5億89百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比較して15億58百万円減少し、989億9百万円となりました。これは主に電子記録債務が15億11百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して111億73百万円増加し、2,008億14百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が75億0百万円、非支配株主持分が32億1百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して48億56百万円増加し、555億98百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、108億72百万円(前年同期比13.4%増)となりました。主な資金の増加は、税金等調整前中間純利益68億11百万円、減価償却費64億14百万円、主な資金の減少は、仕入債務の減少額24億99百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、56億13百万円(前年同期比13.6%増)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出40億75百万円、投資有価証券の取得による支出13億52百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、30億73百万円(前年同期比29.5%減)となりました。主な収入は、セール・アンド・リースバックによる収入11億65百万円、主な支出は、非支配株主への配当金の支払額14億97百万円、配当金の支払額13億57百万円、短期借入金の純減少額10億60百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,005	57,356
受取手形及び売掛金	45,827	44,730
商品及び製品	15,983	17,767
仕掛品	6,787	7,377
原材料及び貯蔵品	11,524	11,715
その他	5,170	4,410
貸倒引当金	△67	△120
流動資産合計	137,232	143,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,585	24,062
機械装置及び運搬具(純額)	27,199	27,554
その他(純額)	19,880	19,924
有形固定資産合計	70,665	71,541
無形固定資産		
のれん	1,031	941
その他	2,761	2,921
無形固定資産合計	3,793	3,863
投資その他の資産		
投資有価証券	38,076	37,464
退職給付に係る資産	16,075	16,024
その他	24,491	27,868
貸倒引当金	△224	△274
投資その他の資産合計	78,417	81,083
固定資産合計	152,876	156,487
資産合計	290,109	299,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,347	17,949
電子記録債務	10,362	8,851
短期借入金	22,894	21,595
未払法人税等	1,609	1,094
賞与引当金	2,461	2,283
その他	13,681	14,049
流動負債合計	68,356	65,823
固定負債		
長期借入金	8,995	9,870
退職給付に係る負債	4,600	4,772
引当金	880	653
資産除去債務	174	174
その他	17,462	17,616
固定負債合計	32,112	33,086
負債合計	100,468	98,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	3,965	3,965
利益剰余金	108,974	111,799
自己株式	△963	△723
株主資本合計	116,735	119,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,003	16,779
為替換算調整勘定	13,866	21,366
退職給付に係る調整累計額	7,769	7,401
その他の包括利益累計額合計	40,639	45,547
新株予約権	129	129
非支配株主持分	32,135	35,336
純資産合計	189,640	200,814
負債純資産合計	290,109	299,723

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	92,089	94,938
売上原価	74,179	75,331
売上総利益	17,909	19,607
販売費及び一般管理費	13,642	14,789
営業利益	4,266	4,817
営業外収益		
受取利息	319	340
受取配当金	438	474
持分法による投資利益	677	1,257
その他	369	583
営業外収益合計	1,804	2,656
営業外費用		
支払利息	133	168
為替差損	228	194
その他	101	138
営業外費用合計	463	501
経常利益	5,607	6,972
特別利益		
固定資産売却益	34	6
投資有価証券売却益	94	—
退職給付信託返還益	320	—
特別利益合計	449	6
特別損失		
減損損失	0	79
固定資産売却損	—	37
固定資産除却損	39	42
投資有価証券評価損	133	—
投資有価証券売却損	79	—
その他	—	8
特別損失合計	253	167
税金等調整前中間純利益	5,804	6,811
法人税等	1,696	2,117
中間純利益	4,108	4,694
非支配株主に帰属する中間純利益	731	1,347
親会社株主に帰属する中間純利益	3,377	3,347

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	4,108	4,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,221	△2,231
為替換算調整勘定	5,666	9,000
退職給付に係る調整額	△289	△378
持分法適用会社に対する持分相当額	926	1,835
その他の包括利益合計	9,526	8,226
中間包括利益	13,634	12,920
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,535	8,250
非支配株主に係る中間包括利益	2,098	4,670

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,804	6,811
減価償却費	6,026	6,414
減損損失	0	79
のれん償却額	89	89
持分法による投資損益(△は益)	△677	△1,257
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△29	△434
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△247	△469
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	△189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	93
その他の引当金の増減額(△は減少)	△50	4
受取利息及び受取配当金	△757	△815
支払利息	133	168
為替差損益(△は益)	△35	24
固定資産売却損益(△は益)	△34	30
固定資産除却損	39	42
投資有価証券評価損益(△は益)	133	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△14	—
退職給付信託返還益	△320	—
売上債権の増減額(△は増加)	419	3,615
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,221	△795
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,276	△2,499
その他	1,837	△38
小計	9,794	10,874
利息及び配当金の受取額	984	2,081
利息の支払額	△132	△169
法人税等の支払額	△1,055	△1,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,590	10,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,204	△709
定期預金の払戻による収入	642	642
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,867	△4,075
有形及び無形固定資産の売却による収入	34	18
投資有価証券の取得による支出	△76	△1,352
投資有価証券の売却による収入	715	100
貸付金の純増減額(△は増加)	3	△61
その他	△185	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,939	△5,613

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,935	△1,060
長期借入れによる収入	5,200	3,800
長期借入金の返済による支出	△3,476	△3,166
リース債務の返済による支出	△962	△957
セール・アンド・リースバックによる収入	543	1,165
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△950	△1,357
非支配株主への配当金の支払額	△1,775	△1,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,357	△3,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,788	2,655
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,082	4,840
現金及び現金同等物の期首残高	44,557	50,742
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	642	15
現金及び現金同等物の中間期末残高	47,282	55,598

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第2四半期(中間期)連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ(除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,181	18,382	7,627	1,558	53,750	38,338	92,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,278	2,743	3	127	7,153	81	7,235
計	30,460	21,126	7,630	1,686	60,904	38,420	99,324
セグメント利益又は損失 (△)	1,278	2,941	△268	201	4,152	98	4,251

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,251
セグメント間取引消去	8
未実現利益の調整額	7
中間連結損益計算書の営業利益	4,266

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,974	22,372	8,398	1,407	56,153	38,785	94,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,671	3,035	2	30	7,740	90	7,831
計	28,646	25,408	8,400	1,438	63,894	38,876	102,770
セグメント利益	307	3,864	3	162	4,338	431	4,770

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,770
セグメント間取引消去	7
未実現利益の調整額	40
中間連結損益計算書の営業利益	4,817

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、保有する投資有価証券の一部を下記の通り売却いたしました。これにより、2025年3月期第3四半期連結会計期間において投資有価証券売却益を特別利益として計上いたします。

1. 投資有価証券の売却理由
政策保有株式の縮減のため
2. 投資有価証券売却の内容
 - (1) 売却株式
当社保有の上場株式
 - (2) 売却完了日
2024年11月8日
 - (3) 投資有価証券売却益
1,240百万円

1. 連結業績：累計

(単位：億円)

	2023年2Q	2024年2Q	増減額	増減率
売上高	920	949	28	3%
営業利益	42	48	5	13%
経常利益	56	69	13	24%
親会社純利益	33	33	0	△1%

為替レート (USD円)	135.99	152.33
為替レート (人民元円)	19.47	21.07

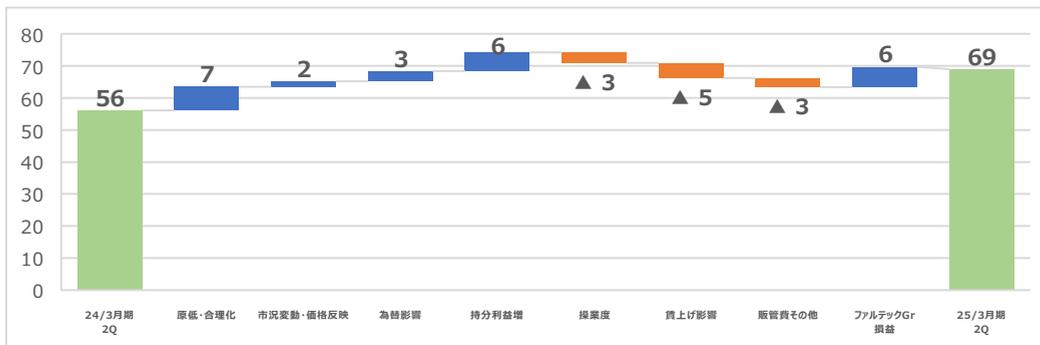
2. セグメント状況

(単位：百万円)

		2023年2Q	2024年2Q	増減額	増減率
売上高	日本	26,181	23,974	△ 2,207	△8%
	アジア	18,382	22,372	3,990	22%
	北米	7,627	8,398	771	10%
	その他	1,558	1,407	△ 151	△10%
	TPRグループ計	53,750	56,153	2,402	4%
	ファルテックグループ	38,338	38,785	446	1%
連結		92,089	94,938	2,849	3%

営業利益	日本	1,278	307	△ 970	△76%
	アジア	2,941	3,864	922	31%
	北米	△ 268	3	272	—
	その他	201	162	△ 38	△19%
	TPRグループ計	4,152	4,338	185	4%
	ファルテックグループ	98	431	333	338%
	消去等	15	47	32	—
	連結		4,266	4,817	551

3. 経常利益増減要因 (2024年3月期2Q → 2025年3月期2Q：億円)

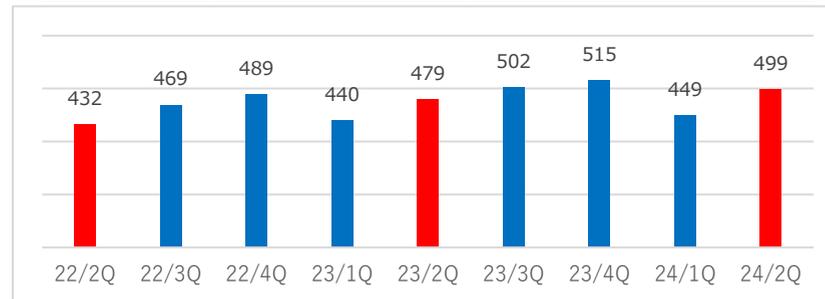


4. 連結業績：四半期実績推移

<売上高>

(単位：億円)

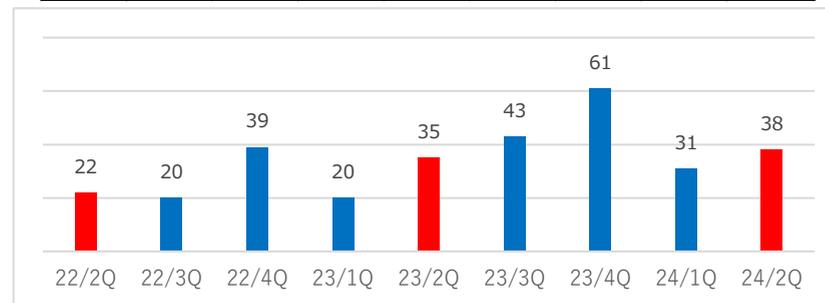
2022			2023				2024	
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
432	469	489	440	479	502	515	449	499



<経常利益>

(単位：億円)

2022			2023				2024	
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
22	20	39	20	35	43	61	31	38



5. 2025年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	増減率
売上高	1,938	1,922	△1%
営業利益	125	126	1%
経常利益	160	163	2%
親会社純利益	81	84	4%

	2024年3月期	2025年3月期(予想)
1株当たり配当金	年間70円	年間100円
(中間配当)	(30円)	(50円)